



宮城豊盛像（栗東歴史民俗博物館 所属）

りっとう 再発見 ⑮

「栗東ゆかりの 戦国武将・宮城豊盛」

栗東歴史民俗博物館

☎ 554-2733 FAX 554-2755

戦国時代の近江国（滋賀県）では、多くの武将たちが活躍しました。その中に、宮城豊盛（1554～1620）という戦国武将がいたことをご存じでしょうか？

豊臣秀吉や徳川家康に仕えた宮城豊盛は、豊臣秀吉から、東坂村（現在の栗東市東坂）や手原村（現在の栗東市手原）、また、大橋村（現在の栗東市大橋）などに5000石の所領を与えられ、大橋村に屋敷を構えたと伝えられています。

慶長3年（1598）に豊臣秀吉が亡くなると、徳川家康の指示によって朝鮮に派遣され、朝鮮に出兵していた武将たちの帰国に尽力しました。

また、慶長10年（1605）には、豊臣秀頼のもとで京・金戒光明寺（現在の京都市左京区黒谷町）の阿弥陀堂再建の普請奉行を務めました。

激動の時期において、石田三成の挙兵を徳川家康に報告し、慶長19～20年（1614～15）の大坂冬の陣・夏の陣にも参加するなど、歴史上の重要な場面を生き抜いた武将でもあります。

晩年は、慈照寺（銀閣寺）の

再建や、知恩院の山門および経蔵の建立などの普請奉行を務め、京に滞在していました。

そして、元和6年（1620）に京で亡くなっています。宮城豊盛の墓は、栗東市東坂の阿弥陀寺にあります。

天正9年（1581）、阿弥陀寺は、火災に遭い、堂舎が焼失しましたが、当時、同所領を治めていた宮城豊盛が尽力し、再建したと伝えられています。

このような関係から、阿弥陀寺で宮城豊盛の墓が営まれたものと考えられます。

栗東歴史民俗博物館では、2月29日（土）に、栗東市ボランティア観光ガイド協会との共催で、宮城豊盛に関する歴史講座を開催します。

詳しくは、来月号の「お知らせ版」に掲載予定です。栗東市にゆかりのある戦国武将・宮城豊盛について、お知りいただく良い機会ですので、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

《葉山幼稚園》「考えて行動できる子どもに」

園幼児課

☎ 551-0424 FAX 551-0149



子どもたちがから奪っていないか、保育者自身が振り返り保育をするように、心がけています。

先日、園内作品展を開催しました。子どもたちが廃材などの色々な教材を使い、無心で作った作品は、どれも個性にあふれ、素敵なものでした。

夢中で一つのことに向かっている無邪気な子どもたちですが、園生活の中では「これでいいかな？」と振り返り、考えて行動することが必要な場面もたくさんあります。例えば、おもちゃの取り合いになった時「大きな声で相手を驚かせて、自分の物にしてもいいの？」「どうすれば、使いたい気持ちを相手に伝えることができるかな？」など、子どもと考えます。また、手を洗う場面では、「手を水でぬらすだけでいい？」「何のためにするのかな？」と、問いかけることもあります。普段、繰り返し何気なく行っている生活習慣に「なぜ？」と考える機会を

よりよく生活するための12か条 ⑳

